



げんのしょうこ
▼ (ふうろそう科)



▲ 茎は地面をはい、葉は3～5に深くきれこむ。花は白色、淡紅色、紅紫色とある。昔から薬用植物としてよく知られ、薬効について(現の証拠)があるということでこの名がついた。

花期 7～10月 草たけ 20～30cm
生育地 草地、土手、道ばた、庭



葉はユキノシタに似る。茎の先に白色の花が大の字形に咲く。

花期 7～10月
草たけ 10～30cm
生育地 湿り気のある岩場

▶ だいまんじそう
(ゆきのした科)



▲ ときんそう
(きく科)

小さな1年草でよく地面をはう。葉はへら形で少し鋸歯がある。葉のわきに黄緑色の花をつける。

花期 7～11月
草たけ 2～10cm
生育地 道ばた